

DNP

DNP Report Vol.53

株主通信

特集インタビュー 新たなビジネスに取り組む出版印刷事業



DNP Report Vol.53



表紙：コンテンツで広がる出版印刷事業

CONTENTS

特集インタビュー	1
第3四半期のご報告	6
事業ハイライト	8
広がるP&Iソリューション	12
会社情報 / 株式の状況	13

デジタル化・ネットワーク化の進展にともない雑誌や書籍はインターネットなどでも読まれるようになっていきます。

DNPの出版印刷事業は、このような変化のなかで進化し、電子出版やオンデマンド出版等の新しいビジネスにも積極的に取り組んでいます。出版物の大量生産だけでなく、顧客企業のコンテンツを取扱いやすく加工することにより、複数メディアに展開可能なクロスメディアパブリッシングなどにも対応しています。

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としており、記載された意見及び予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

新たなビジネスに取り組む 出版印刷事業

常務取締役

西村 達也



DNPの伝統的なビジネスである出版印刷事業。これまでの事業拡大を支えてきた当事業の市場環境が、電子出版の普及などにより急速に変化しています。今回は、新たなビジネスに積極的に取り組む出版印刷事業の現状と今後の成長戦略について、常務取締役 西村達也が質問にお答えします。



Q: これまでの歴史を教えてください。

出版印刷事業は、明治9年（1876年）の創業以来の基幹事業であり、創業時の舎則にある「文明ノ営業」（文明の業を営む）という志のもと、社会・文化の発展に貢献するとともに、自らの事業を発展させてきました。

代表的な日本語辞典である岩波書店様の「広辞苑」は、2008年1月に「第六版」が発売され、10年ぶりの改訂とあって大きくマスコミでも取り上げられました。「広辞苑」は1955年発刊の初版以来、DNPが印刷を手掛けてきましたが、1976年の第二版補訂版からCTS（Computerized Typesetting System：電子組版システム）を導入し、編集工程、印刷工程の省力化を図りました。

1985年にはCTSを実現した印刷技術と情報技術の融合により、世界で初めてCD-ROM版電子辞書を開発しました。このことは書籍や雑誌の印刷用に準備されたコンテンツを、Webサイトや携帯電話などのさまざまなメディアに展開する技術のさきがけとなりました。

また、DNPはオリジナル書体「秀英体」の高精細ディスプレイ表示用フォントを開発しました。テレビやパソコン、携帯電話などに文字が表示された時の判読性を高めたもので、電子出版などのさまざまなデジタルコンテンツへの需要を見込んで



大改訂された広辞苑 第六版（岩波書店）



線のはじめの部分のを太くするなど、文字の存在感を強調したデザインが特長

います。

情報化社会に対応するデジタル・インフラを拡充させることにより、出版印刷の事業領域はますます拡大しており、現在、インターネットを通じてコンテンツを提供するサービス「電子出版」にも取り組んでいます。

Q: 市場環境はどうなっていますか。

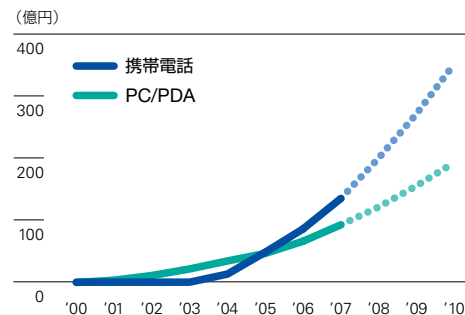
日本の出版市場は2兆1,500億円と推定されており、書籍が9,000億、雑誌などが1兆2,500億を占めています。メディアの多様化や若年層の人口減少などの影響で、特に雑誌の市場は縮小傾向にあり、国内の出版印刷市場の拡大は厳しい状況です。

しかし一方で、最近の携帯小説ブームなどに見られるように、電子出版の市場は急速に拡大しています。この市場の規模は、2002年には10億円程度でしたが、2006年には180億円と大幅に伸展しており、数年のうちに1,000億円を超えるという見方もあります。

Q: 電子出版への取り組みはどうでしょうか。

出版市場を取り巻く環境が大きく変化しているなか、電子出版などを含めた、コンテンツ市場全般を

拡大する電子出版市場



出所：インプレスR&D刊「電子書籍ビジネス調査報告書2006」
(2007～2010年はDNP 推定値)



ドラマとの連動で大ヒット中の作品、「天璋院篤姫」上下巻
宮尾登美子著（講談社文庫）



視野に入れたビジネスが求められるようになって
います。

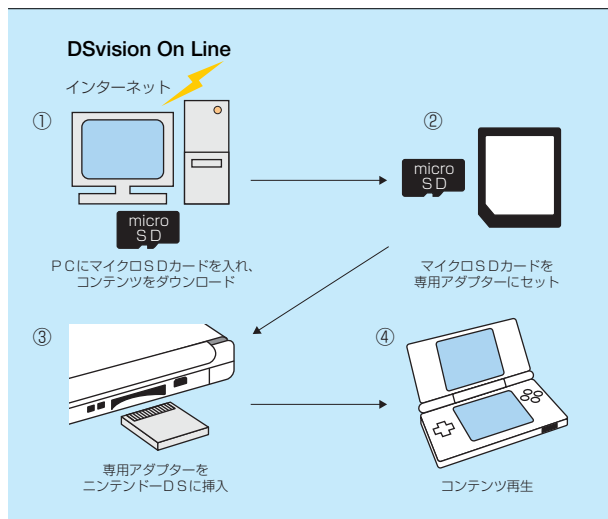
急速に拡大している「電子出版」市場において、DNPは携帯向けコンテンツ販売事業である「よみっ
ち」(文芸)、「まんがこっち」(コミック)、「お約束
写真館」(写真集)、「音の本棚」(オーディオブック)
の運営や、「電子出版流通プラットフォーム事業
(コンテンツ販売事業者への取次ぎサービス)」を積
極的に展開しており、消費者向けの新しいコンテン
ツサービスの仕組みを出版社などのコンテンツホル
ダーに提供しています。

さらに今期は、ニンテンドーDSをプラットフォームとする出版・映像コンテンツの配信事業
(DSvision ; ディーエスビジョン) への取り組みを発
表しました。2008年春からサービスを開始する予
定です。

**Q: 電子出版ビジネスにおけるDNPの
強みを教えてください。**

これまで出版印刷を手掛けてきたDNPにとって、
「電子出版」ビジネスへの事業拡大は、新しい領域
への挑戦であると言えます。しかし、これまで培っ
てきた出版社をはじめとする各分野のコンテンツホ
ルダーとの深いつながりやソリューション開発と提
案の実績が、新しい領域においても強みになると考

ニンテンドーDSを活用したサービスモデル



ニンテンドーDS専用マイクロSDカードとアダプター、パソコンに接続するた
めのUSBリーダーライター

えています。

DNPは「電子出版」ビジネスにおいても、企画・制作、コンテンツ販売プラットフォームの提供、マーケティング、販売促進支援など、顧客企業の電子出版ビジネスに関するあらゆる業務プロセスに対応する、包括的なサービスを提供していきます。

Q: 中長期の事業ビジョンをお聞かせください。

出版印刷をめぐる環境は、さまざまな要因から大きく変化しようとしています。DNPはコンテンツを加工し複数メディアに展開可能な新しい製造プロセスにも対応しはじめました。

情報技術の進展は、新しいメディア、新しいビジネスの登場をもたらすと同時に、時間や空間のあり方にも変化を与え、日本の出版文化も「言葉の壁」を超えて世界に広がろうとしています。

今や企業は環境対応やユニバーサルデザインの推進などで成果を共有することにより、多くの人々と持続的に社会を発展させることが求められています。

DNPはこうした社会の変化を新しいビジネス機会と捉え、出版社などの顧客企業から信頼されるパートナーとして、共に新しい市場を開拓していきたいと考えています。

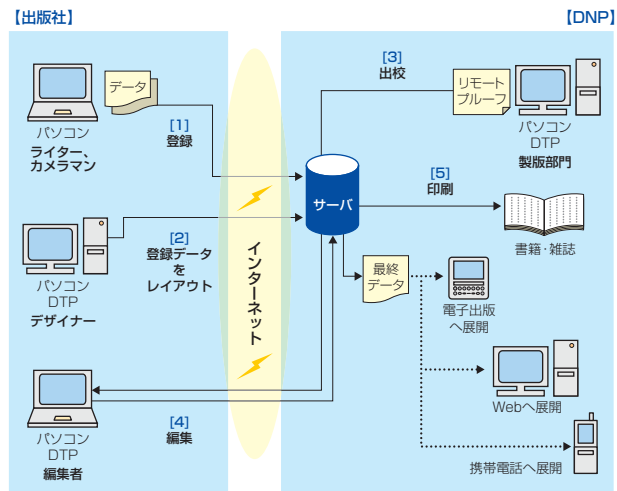


まんがこっち：
ケータイコミック販売サイト（iモード・au・Y!ケータイ3キャリア公式サイト）。懐かしいマンガからオリジナル作品まで販売タイトルは2,500以上！ケータイ週刊少女まんが雑誌「週刊アンジー」配信中！



よみっち：
読み物に特化したケータイ電子書籍販売サイト（iモード・au・Y!ケータイ3キャリア公式サイト）。販売タイトル数は約3,000を収録。

新しい製造プロセス



連結業績の概況

(単位：億円)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	12,062	11,510
営業利益	652	735
経常利益	660	775
四半期純利益	352	406

連結業績の予想 (平成20年3月期通期)

(単位：億円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16,600	870	915	495

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)73円41銭(予想年間期中平均株式数による)

ポイント解説

情報コミュニケーション部門で、パーソナルメールなどのIPSが順調に推移し、生活・産業部門ではペットボトル用無菌充填システムや薄型ディスプレイ向け光学フィルムが増加しました。エレクトロニクス部門においては、液晶カラーフィルターが需要の拡大と、シャープ株式会社向け第8世代の生産により大幅に増加しました。この結果、売上高は1兆2,062億円(前年同期比4.8%増)となりました。

営業利益は、エレクトロニクス部門においては、前年同期比16.9%増加したものの、原材料価格の上昇や競争激化による受注単価の下落により、652億円(前年同期比11.3%減)となりました。

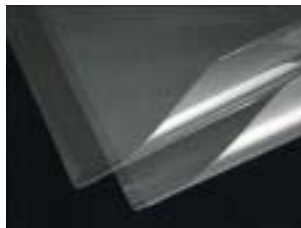
四半期純利益は、352億円(前年同期比13.4%減)となりました。

セグメント別の状況

印刷事業



ICカード



液晶ディスプレイ用反射防止フィルム



液晶カラーフィルター拡大写真

清涼飲料事業



清涼飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	5,034億円
前年同期比	1.4%増
営業利益	312億円
前年同期比	16.8%減

生活・産業部門

売上高	4,136億円
前年同期比	6.2%増
営業利益	252億円
前年同期比	9.1%減

エレクトロニクス部門

売上高	2,444億円
前年同期比	13.3%増
営業利益	141億円
前年同期比	16.9%増

清涼飲料部門

売上高	555億円
前年同期比	0.9%減
営業利益	12億円
前年同期比	57.8%増

連結貸借対照表 (平成19年12月31日現在)

(単位：百万円)

科目	当第3四半期末	前第3四半期末
資産の部		
流動資産	706,853	795,424
固定資産	884,509	892,854
有形固定資産	635,754	626,745
無形固定資産	29,055	23,825
投資その他の資産	219,700	242,284
資産合計	1,591,363	1,688,279
負債の部		
流動負債	437,760	473,095
固定負債	104,343	115,500
負債合計	542,104	588,595
純資産の部		
株主資本	994,004	1,026,155
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	804,893	814,560
自己株式	△ 70,251	△ 47,768
評価・換算差額等	26,193	45,978
その他有価証券評価差額金	23,626	44,281
繰延ヘッジ損益	△ 9	△ 13
為替換算調整勘定	2,576	1,710
少数株主持分	29,060	27,548
純資産合計	1,049,259	1,099,683
負債及び純資産合計	1,591,363	1,688,279

連結損益計算書 (平成19年4月1日から平成19年12月31日)

(単位：百万円)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	1,206,298	1,151,036
売上原価	990,576	933,529
売上総利益	215,722	217,507
販売費及び一般管理費	150,452	143,944
営業利益	65,270	73,563
営業外収益	7,839	7,586
営業外費用	7,063	3,635
経常利益	66,046	77,515
特別利益	16,077	4,179
特別損失	15,482	7,529
税金等調整前四半期純利益	66,642	74,165
法人税、住民税及び事業税	18,411	20,970
法人税等調整額	11,993	11,631
少数株主利益	1,007	867
四半期純利益	35,228	40,695

トピックス

10月

October

- デジタルカメラ用の写真プリント材料である昇華型熱転写記録材の事業拡大に向けて、ゼネラル社から製造設備と販売事業をDNPが譲り受けることで合意
- DNPとルーヴル美術館との共同プロジェクトで、美術作品の新しい鑑賞方法を提案する「ルーヴルー-DNPミュージアムラボ」の第3回企画展「《うさぎの聖母》聖なる詩情」を、DNP五反田ビルで開催
- ライオンと共同で、「点字」と「触図」を取り入れた、視覚障害者の方にも役立つユニバーサルデザイン健康読本の第4弾「さわってわかる歯みがきの本《むし歯編》」を発行

11月

November

- ソニー、ぐるなび等と共同で、非接触ICカード技術「FeliCa(フェリカ)」を使って、店舗の集客・販促支援を行う新会社「フェリカポケットマーケティング」設立で合意
- 電子書籍などデジタルコンテンツの内容にあった書体を自動的に選択し、携帯電話やパソコンなどに表示できるシステムを慶應義塾大学と開発
- 株主への利益還元の一環として自己株式20,000,000株(消却前発行済株式総数に対する割合2.74%)の消却を実施

12月

December

- 化粧品販売ショップ「@cosme store (アットコスメ・ストア)」で、化粧品のクチコミ情報を携帯電話に配信する販促実験を実施
- DNPのユニバーサルデザインへの取り組みが評価され、「平成19年度バリアフリー化推進功労者表彰」の「内閣府特命担当大臣表彰奨励賞」を受賞

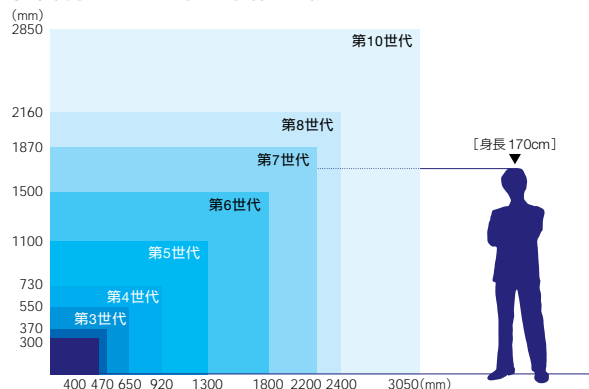
10月

October

世界最大サイズの第10世代向け液晶カラーフィルター工場の建設を発表

液晶テレビが急速に普及し、今後は40インチ以上の大型液晶テレビの市場拡大が見込まれています。それにもない液晶パネルメーカー各社は、大型テレビ向け液晶パネルの生産能力を増強しています。DNPはシャープ株式会社が進める大阪府堺市のコンビナート構想に参加しインクジェット方式による液晶カラーフィルターの新工場を建設します。この新工場は世界最大サイズの第10世代の液晶カラーフィルターを製造する予定で、シャープ株式会社にここで生産する全数を供給する予定です。

世代別ガラス基板の面積比較



※液晶パネルメーカーによってサイズが異なります。

11月
November

**ニンテンドーDS®向けコンテンツ配信事業「DSvision™」
出版・映像コンテンツのダウンロード販売を記者発表**

DSvision（ディーエスビジョン）は、インターネット経由で、ニンテンドーDS及びニンテンドーDS Liteの端末に、コミック・書籍・情報誌等の出版物やアニメ・映画・ドラマなどの映像コンテンツをダウンロードできるサービスです。DNPは株式会社am3に資本参加し、am3が持つニンテンドーDS向け著作権管理などの基本技術を活用して、コンテンツ制作からダウンロードサイトの運営までを含めたワンストップ・サービスを2008年春から提供します。



2007年11月29日記者会見の様様
左からDNP 西村常務、am3 竹内社長、黒川会長、澤居専務

12月
December

**デジタルペンを使った教育分野向け授業支援ツールを
共同開発**

DNPと株式会社ワオネットは共同で、記入と同時に文字や図形をデジタルデータ化して記録するアノト方式デジタルペンを使って、学習効果を高める授業支援ツールを開発しました。記入内容の確認などにより、教師は生徒がどのような考え方で記述しているかをその場で把握できるため、より効果的に指導と評価を行うことができます。今後は、教育的効果の検証を重ねるべく、学校や塾をはじめとした教育機関での導入を推進し、2008年4月より販売を開始します。



入力用紙とデジタルペン

レジオン・ドヌール勲章 コマンドゥールの受章

弊社社長北島義俊がフランス共和国よりレジオン・ドヌール勲章コマンドゥールを受章しました。

レジオン・ドヌール勲章は、1802年ナポレオン・ボナパルトが創設したフランス共和国最高の勲章で、文化・科学・産業・商業・クリエーションなどの分野で、同国に多大な貢献をした人物に対し、フランス大統領の決定のもとフランス政府から授与されるものです。



謝辞を述べる北島社長



2007年12月18日フランス大使館で開催された叙勲式

受章理由

DNPはこれまでフランスにおいて、デジタルフォト用インクリボンの販売を行うDNP IMSフランスや銀塩フィルムなどのフォト関連製品の販売を行うDNPフォトイメージングヨーロッパを設立するなど積極的な事業活動を展開してきました。文化交流においてもルーヴル美術館との共同プロジェクトで、ITを駆使して美術作品の新しい鑑賞方法を提案する「ルーヴルーDNPミュージアムラボ」を開設しました。これらフランスの産業振興と日仏両国の文化交流への貢献が評価されました。1998年に同勲章オフィシエを受章しており、今回が2回目の受章です。

コアテクノロジー【ICカード技術】

DNPIは、「印刷技術」と「情報技術」を核に新技術や新素材を開発し、さまざまな分野に応用しながら、世界の印刷業界をリードしています。この「コアテクノロジー」では、そうした注目の技術を紹介します。今回は、ICチップの基本ソフトウェアやアプリケーション開発に必要な不可欠なICカード技術です。

■ ICカード技術

ICカード技術には、ICチップの動作を制御する基本ソフトウェアや電子マネーなどのアプリケーションの開発に必要となる組込みソフトウェア開発技術、本人確認やICカードが本物かどうかを判定する認証技術などがあります。1980年代、国際標準規格もない時代からDNPIはICカードビジネスに取り組んできました。情報セキュリティが重要となった現在のIT社会において、DNPIはインターネットバンキング



オフィスへの入退出セキュリティ向けICカード

やオフィスへの入退出などのセキュリティ用途として、ICカードのビジネス領域をますます拡大させています。

■ 製品への展開

現在、注目されているのは携帯電話に差し込まれている小型のICカードです。通信やユーザーの認証に必要な情報をすべて集約するもので、着脱が可能です。ワンセグやおサイフケータイ®に加え、今後はカーナビとの連携など携帯電話のさらなる多機能化のなかで、このカードへの期待が高まっており、DNPIはこれまでのノウハウを活かしビジネスチャンスを的確に捉えていきます。



携帯電話用の小型ICカード

ICタグソリューション

今やICタグは、流通業務における商品管理ツールとしてだけでなく、病院のカルテ管理や図書館における本の貸出管理、回転寿司の精算など身近なところにも広がりつつあります。今回は、DNPのICタグソリューションを紹介します。



同時複数読取テスト

◆ICタグとは

ICタグは、カードやラベル状のタグに、微小なICチップと小型アンテナを埋め込み、専用の読み取り機と無線で物品や人などを識別し管理する仕組みです。ICタグは、複数タグの一括読み取りや、無線での書き込みが可能であることなどから、商品物流の分野で注目を集めています。身近な例では、図書館において、貸出される本やCD、DVDなどにICタグが貼付されており、効率的な管理が行われています。

現在、物流や製造の現場における業務効率化やトレサビリティシステムなど、ICタグの利用シーンは多

様化しています。実際の導入に際しては、目的や利用環境を踏まえ、ICタグとシステム全体の仕様をまとめる一方、業務を想定したテストを繰り返すことによりスムーズなシステム構築が可能となります。

DNPには、「ICタグ実験工房」や「SCMソリューションテストセンター」など実験施設を利用した各種テストの実施や的確なアドバイス、現場施工と機器調整まで、ICタグのプロフェッショナルとしてあらゆる角度から最適な方法を提供できる強みがあります。今後もICタグの開発・製造だけでなく、顧客企業の課題を解決するICタグソリューションを提供していきます。



SCMソリューションテストセンター

会社概要 (平成19年12月31日現在)

商号 大日本印刷株式会社	創業 明治9年(1876年)10月
英文社名 Dai Nippon Printing Co., Ltd.	設立年月日 明治27年(1894年)1月19日
本社所在地 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 電話 03(3266)2111 ダイヤルイン案内台 URL http://www.dnp.co.jp/	資本金 1,144億6,476万円

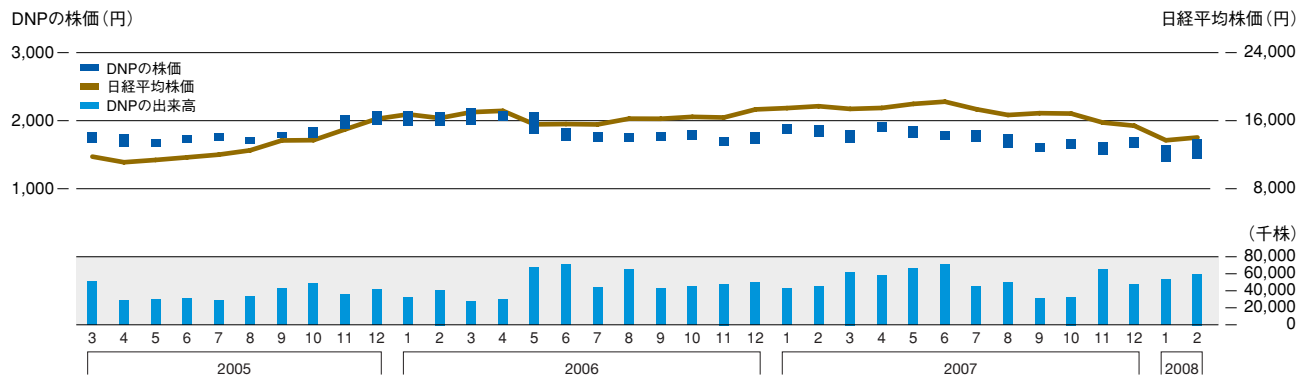
株式の状況

Stock Information

発行済株式総数 710,480,693株

※平成19年11月20日に自己株式の消却を実施したことにより、「発行済株式総数」は20,000,000株減少しています。

株価/出来高推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
名義書換取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話お問合せ)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
上場証券取引所	東京・大阪
公告方法	電子公告により行います。 (当社のホームページ http://www.dnp.co.jp/jis/ir) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

単元株式数(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様が、当社に対しその単元未満株式の数と合わせて1単元になる数の株式を買増請求することができる「単元未満株式の買増制度」を導入いたしております。

また単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いいたしております。

お手続きをご希望の株主様は、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。